

## 国立公園の湖沼

### 成り立ち

阿寒地域は後カルデラ火山（大きな火山性クレーター）であるフップシ岳、フレベツ岳、雌阿寒岳、雄阿寒岳の火山活動によって形成され、多くの動植物が生息する、様々な湖、池、沼が点在しています。

雄阿寒岳の周囲には大小 10 ほどの湖沼があります。元々は、古阿寒湖と呼ばれる 1 つの巨大な湖でした。約 10,000～6,000 年前の雄阿寒岳の噴火によって、以前の湖は部分的に埋められ、現在残っている、10 の別々の湖ができました。

### 阿寒地域の湖沼の特徴

代表的な湖はなんといっても阿寒湖です。阿寒湖は、マリモという珍しい球形の藻や、ヒメマスという、海水魚から適応した淡水魚の自然の生息地として知られています。周囲の森の木々から湖へ注がれる栄養が、このような珍しい生命体が成長する理由の 1 つです。森の保水力などのおかげで、湖の水位は年間を通して一定です。次の 2 つの大きな湖であるパンケトーとペンケトーは、雄阿寒岳の北東山麓の深い森の中にある湖です。この 3 つの大きな湖の他、小さな湖には、太郎湖、次郎湖、ひょうたん沼などがあります。最初は同じ湖であったにも関わらず、これらの湖の水質は様々です。

これら雄阿寒岳周辺の湖沼とは違って、オンネトーは、雌阿寒岳噴火で水が堰き止められてできた湖です。この湖を満たすコバルトブルーの水は、天候、時間帯、見る場所によって青緑の色合いを変えます。オンネトーは、北海道三大秘湖の 1 つに数えられています。